



ジャパントラックショー2026に出展

日本製鉄株式会社(以下、日本製鉄)は、2026年5月14日(木)～5月16日(土)にパシフィコ横浜で開催されるトラック業界国内最大の展示会「ジャパントラックショー2026」に出展します。展示ブースでは、日本製鉄のトラック・バス用アルミホイール「タフブライト®」をメインに、補助ブレーキ装置の永久磁石式リターダ「ネオタード®」、耐摩耗鋼板「ABREX®」を展示します。

「タフブライト」は、新幹線を始めとした鉄道車輪の国内唯一のメーカーである日本製鉄が鉄道車輪で培った技術やノウハウを活かして開発した高品質なホイールです。長年にわたり主要トラック・トレーラーメーカーに純正設定され、新車購入時に銘柄指定ができる製品です。

一般的なアルミホイールの材料と比べて、高強度な材料を使用することにより実現した軽量化により、積載量の増加や燃費向上による物流コストの低減だけではなく、CO₂排出量の削減にも貢献します。また、外観は特殊切削加工により鏡のような輝きを放ち、遠目で見ると太陽光線を効果的に反射する特徴により、車両が足元から映えるとお客様から好評を頂いています。

今回の出展では、自社ブース(A18)で現物を確認できるだけでなく、会場内に複数台出展される「タフブライト」装着車両で実際の車両装着状態を確認することができるようになっています。装着車両を写真撮影しながら巡る「フォトラリー タフブライトを探せ！」企画(特製ノベルティを進呈)を予定しています。

補助ブレーキ装置の永久磁石式リターダ「ネオタード」は、長い下り坂での安全性の向上に加え、フットブレーキの使用頻度が減ることにより、ブレーキライニングの長寿命化に貢献します。

今回の出展では、現物展示や実際に動かして原理を学べる原理体感装置をご用意しています。

「ABREX®」は、ダンプ荷台、コンテナ、ボディ内部部品など、積み降ろし時の摩耗・衝撃が激しいトラック用途向けに高い評価を得ている耐摩耗鋼板です。高い耐摩耗性と加工性を両立し、摩耗による板減り・早期交換といった現場課題に対し、部材寿命の延長とメンテナンス負荷の低減を実現します。実際の採用事例を通じて、車両稼働率向上とトータルコスト削減につながる活用方法をご紹介します。架装メーカー様・運送事業者様それぞれの使用条件に応じたご相談にも、その場で対応いたします。

【日本製鉄グループの展示イメージ】



【アルミホイール「タフブライト」】



【永久磁石式リターダ「ネオタード」】



【耐摩耗鋼板 ABREX】



■ 「ジャパントラックショー」 ホームページ <http://truck-show.jp/>

お問い合わせ先 : <https://www.nipponsteel.com/contact/>

以上